

## 令和2年度

### 文京区少年軟式野球大会実施要綱

1. 目的 少年の健全なる心身の鍛錬と、強調公徳の精神の育成を目的とする。

2. 大会名称 第45回文京区少年軟式野球大会・夏季大会

3. 実施日

	6月28日 (日)	7月4日 (土)	7月5日 (日)	7月11日 (土)	7月12日 (日)	7月18日 (土)	7月19日 (日)	7月23日 (祝・木)	7月24日 (祝・金)	7月25日 (土)	7月26日 (日)
六歳		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後案	○		○	○	○		○			○	○

4. 大会会場 六義公園運動場、後案少年野球場

5. 参加資格 中学の部→連盟加盟チームの中学生  
学童の部→連盟加盟チームの小学5年生以下  
学童低学年の部→連盟加盟チームの小学4年生以下  
※選手はスポーツ安全保険に必ず加入のこと

6. 編成 チーム編成は10名以上で、小学4・3年生は高学年と低学年の重複登録を認める。

7. 試合方法
- ① 試合時間は、試合開始から1時間20分（低学年は1時間）を過ぎたら新しいイニングに入らず、均等回の得点で勝敗を決める。勝ち逃げ禁止ルールは適用しない。  
ただし決勝戦は20分延長した時間制限とする。  
雨または日没の場合、4回（低学年は3回）終了にて成立。不成立の場合は再試合。
  - ② 試合は7回（低学年は5回）までとする。同点の場合はタイブレーク方式を行う。  
タイブレーク方式は最大2イニング（低学年は1イニング）までで、勝敗が決しない場合は抽選によって決定。  
ただし決勝は勝敗が決するまで、タイブレーク方式を行う。  
（タイブレーク方式）最終打順で無死一・二塁の状態で行う。走者は前回の最終打者を一塁に、二塁は前の打者とする。
  - ③ 4回（低学年は3回）以降7点差にて決勝戦を含めコールドゲームとする。  
また、20点以上差が出た場合は、選手の健康管理を考慮して全試合をコールドゲームとする。
  - ④ 投手の投球制限を以下に定める。  
（投球上限数） 1日あたり中学：100球、学童高学年：70球、学童低学年：60球  
（投球制限） 投手投球数は1日の投球上限数以内とし、同投球に達した場合は当該打者が打撃完了する迄投球が出来る。また一度投手を退き野手となった場合、投球上限数に達していなければ再登板出来る。
- ⑤ ~~選手は1時間前に集合し、監督はメンバー表を速やかに提出のこと。~~
- ⑥ 試合中は、バッター・ランナー・コーチャーボックスは必ずヘルメット着用のこと。  
捕手は防護用ヘルメット、マスク（スロートガード付）、ファールカップを着用すること。  
また、六義公園運動場において、A面・B面双方試合実施の際は、A面左翼手・B面右翼手もヘルメット着用、攻守交代時の外野手によるキャッチボール等守備練習を禁止する。
  - ⑦ 選手の背番号は0～99番までとし主将は10番とする。監督は30番、コーチは28・29番としそれ以外は認めない。
  - ⑧ ユニフォームと帽子は全員が同色・同形、同意匠、ストッキングとアンダーシャツは全員が同色であること。  
選手、監督・コーチ共にパンツの裾上げスタイルを原則とし、ロングパンツ（裾にゴムの無いもの）やストレートパンツの着用は認めない。
  - ⑨ 試合上の抗議権は、監督と当事者の1名とする。
  - ⑩ ベンチ内は各チームで登録してある監督・コーチ、責任者・スコアラー、給水係保護者（2名）の計8名と選手に限る。  
なお、指導者のユニフォーム着用は監督・コーチの3名以内、責任者・スコアラーはチームの帽子を着用すること。
  - ⑪ 低学年の部では、チームのユニホーム着用の監督、コーチにかぎり、コーチャーボックスに入ることを認める。
  - ⑫ 後案少年野球場で行われる学童低学年の部で、金網フェンスの白線上部に直接当たったフェア・打球は本塁打とする。
  - ⑬ 低学年の部で、攻撃がイニングに10得点を超えた場合、アウトカウントにかかわらず攻守交代とする。
  - ⑭ 試合中、選手の健康管理を考慮して担当審判員、または大会本部の判断で給水タイムをとる場合がある。  
この場合、給水に要する時間は試合時間に含めない。

8. 出場資格 ① ~~開会式に無断で不参加の場合。~~

② チーム編成に不正行為があった場合。

③ 試合時間に遅れた場合。

9. 注意事項

① 大会期間中は、自転車の乗り入れをすべて禁止する。

② 駐車は連盟駐車場許可証を提示した車のみとし、六義公園運動場の公園側出入口、ならびに管理事務所側出入口近辺での乗降を禁止とする。

③ ゴミ、空缶等は各チームが責任をもって持ち帰ることとし、応援父母の皆様にも徹底すること。

④ グラウンド内、ならびに六義公園運動場の公園側出入口、管理事務所側出入口近辺はすべて禁煙とする。

⑤ 試合以外で会場内でのバットの使用は禁止、系振りも事故防止のため禁止とする。

⑥ ~~会場内での練習は禁止。ただし次の試合のチームは可。~~

⑦ 試合後のグラウンド整備は、試合が終わった両チームが行うこと。ライン引きは審判部が担当する。

⑧ 六義公園運動場において、9時以前の選手集合を禁止とする。

⑨ 攻守交代後の投球練習時において、控え選手が捕手を行う場合、ヘルメットとマスクを必ず着用する。

⑩ 第一試合開始前のシートロックは、各チーム5分以内に行うこと。  
※シートロック時にロッカーの周りにいる選手はヘルメットを着用すること  
※第二試合以降は、原則として試合開始前のシートロックは行わない

⑪ 試合開始後の選手追加がある場合は、メンバー表に追加選手名を記載、その旨を審判員に報告・提出し承諾を得ること。

⑫ 各チーム応援旗はグラウンド外側へ掲示、応援はベンチより外野側にて行うこと。  
なおベンチ、応援共にメガホンの使用を終日禁止とする。

⑬ 来賓、連盟役員、審判部・審判当番以外の方の大会本部への不必要な立入を禁止する。

⑭ 選手の追加登録は自チーム初戦のメンバー表提出までとし、スポーツ安全保険は必ず加入すること。

⑮ 大会期間中、六義公園運動場における公園側出入口の利用を一切禁止とする。

10. 新型コロナウイルス対策に関する特別注意事項

① 試合当日、チームは選手の検温結果や健康状態を把握、試合への出場可能か否かを判断する。

② 大会会場への移動は公共交通機関使用、あるいは徒歩が望ましいが、車移動の場合は3密を避け、マスクを着用すること。

③ 大会関係者・試合該当チーム以外のグラウンド出入を原則禁止、グラウンドインは試合開始30分前、メンバー表提出も同時刻とする。また、試合終了後は速やかにグラウンドを退出すること。

④ 六義公園運動場への入出場について、A面は公園側木戸の利用、B面は簡易管理事務所側出入口の利用厳守とし、連盟関係者以外のA面・B面間の移動を禁止とする。  
なお、B面大会実施チームが公園トイレを利用する際は、グラウンド外側を通行する事とする。

⑤ 後案少年野球場への入出場について、一塁側ベンチは右翼側外野、三塁側ベンチは左翼側外野出入口の利用厳守とし、連盟関係者以外の一塁・三塁間の移動を禁止とする。

⑥ 六義公園運動場においてA面横フレハブ倉庫前でのアップを禁止とする。

⑦ 役員・審判部も各々グラウンド内での食事を禁止、グラウンド内外での手洗い・うがいの励行を徹底する。

⑧ ブロック当番・審判当番は従来通りの運用とするが、選手・指導者を含めてマスク着用を認める。  
また、状況に応じて自チーム審判対応の特例を認める。

⑨ 優勝旗・優勝杯の返還は当該チームの第一試合前とする。

⑩ 試合開始時、試合終了時の整列は行わず、選手はベンチ前に整列し挨拶を行う。

⑪ 円陣・エールの交換は行わない。

⑫ ベンチ、応援団共に応援歌は禁止とし、大声での声援は控える。

⑬ 試合中に審判員へのお茶出しはしない。

⑭ 試合終了後2週間以内に監督・コーチ、選手及びその同居家族が新型コロナウイルスに感染したことが判明した場合、文京区少年軟式野球連盟に対して速やかに連絡すること。

⑮ 選手の大会参加は自由として、決して強制する事なき様、保護者への説明をお願いします。

⑯ 文京区少年軟式野球連盟として、大会開催出来る様各種対策を練って実行している事、改めてチーム内への説明を徹底して頂きたい。

令和2年6月

文京区少年軟式野球連盟